

# ◇ 第8回症例検討会 研修会報告 ◇

日 時	2019年5月12日(日) 13:00～17:00
場 所	神戸薬科大学地域連携サテライトセンター
テーマ	SDGによる症例検討
受講資格	現役の薬剤師
受講者数	25名(本学学生5名(※実践薬学受講生)含む)

## 【タイムテーブル】

13:00	開会
13:05～13:15	アイスブレイク
13:15～14:25	症例検討(SGD)1 「薬局薬剤師の生活習慣病へのアプローチとは？ ～糖尿病患者行動変容を導いた事例より～」 阪神調剤薬局 湊川店 塚本 有佳子 先生
14:25～15:00	情報交換会
15:00～16:55	症例検討(SGD)2 「臨床推論の実践！「これって薬の副作用ですか？ 急な訴え、問い合わせの適切な対応～腹痛編～」 医誠会病院 薬剤部 主任 森 昌彦 先生
16:55～17:00	質疑応答等
17:00	閉会 アンケート用紙回収、単位シール交付



神戸薬科大学エクステンションセンター  
鎌尾まや講師を中心に行われた検討会前の  
打ち合わせ。十分な打ち合わせを行ったことで、  
スムーズで円滑な運営が実現できました。



宮田 興子 学長から開会のご挨拶

## 【研修会内容】

### 症例検討 (SGD) 1

「薬局薬剤師の生活習慣病へのアプローチとは？～糖尿病患者行動変容を導いた事例より～」



阪神調剤薬局 湊川店 塚本 有佳子 先生による講義

### ＜グループディスカッションと発表の様子＞



医療薬学研究室  
力武 良行 教授による解説

### ＜情報交換会の様子＞



30分程度のティータイムを利用した情報交換会でしたが、多くの方々と情報を共有でき、有意義な会となりました。

## 症例検討(SGD)2

「臨床推論の実践！」

「これって薬の副作用ですか？急な訴え、問い合わせの適切な対応～腹痛編～」



医誠会病院 薬剤部 主任 森 昌彦 先生による講義

〈グループディスカッションと発表の様子〉



宮田 興子 学長による講義  
「医薬品の作用におけるチオール類の役目」



医療薬学研究室  
力武 良行 教授による解説

## アンケート(意見交換・情報共有したい事柄、今回の感想等)抜粋

- ・今回ある程度研修をうけていたことと重なっていたので、新しい知識をえることはあまりなかったが、症例検討会は講義を受けるより参考になることが多いです。
- ・慢性腎不全
- ・免疫疾患や精神疾患に触れる機会がないため、とりあげていただけると嬉しいです。
- ・他の薬局の方とお話しできてよかったです。勉強になりました。
- ・グループディスカッションにより、様々な意見を聞くことができ、新しい発見を得ることができました。今後もこのような研修を続けていってほしいです。
- ・病院薬剤師目線で研修医に対する情報提供のイメージがなかなかできなかったのが、難しく感じました。
- ・ディスカッション形式で主体的に参加でき、参考になる意見も多数あって勉強になりました。また、臨床推論のテーマがあれば参加させて頂きたいです。
- ・2講義ともとても勉強になりました。病院の先生方の考え方も知ることができてとても良い勉強会になりました。
- ・2症例目のディスカッション中に、たくさんのお話しがありましたが、ディスカッションの時間と質問、情報提供の時間を分けていただくと、より話し合いが集中できたと思いました。
- ・処方薬と疾患との関係をすぐにイメージできるよう経験を重ねることが必要であると感じました。
- ・ディスカッションの中で考える力をつけることが重要であると感じました。

etc

以 上